

評者：竹内里欧、井上義和

(所外開催 国際文化会館)

〈第二回研究会〉

二〇一九年二月七日

チンジュ・フオ「Curriculum reform as constituting and re-constituting “nation-ness”: a case of Taiwan」

スイン・フン「Museum as Method: An Imaginative Approach to Education」

二〇一九年二月八日

ヨン・ミ・リ「Rethinking East Asia: Towards a regional dialogue in education」

国際文化会館内の図書室における資料調査

(文責：研究協力課)

基礎領域研究

英文日本歴史研究書講読(継続)

代表者 牛村圭

概要 達意の英語で書かれた日本史研究書を素材に、英文

を正しく読み、自然な日本語にする手法の修得を目指す。

中世文学講読(継続)

代表者 荒木浩

概要 日本中世文学の文献を、影印を参照し、英訳などとも対比しながら精読するとともに、最新の研究動向などについての発表や情報交換の場としても活用する。

韓国語の運用(基礎・応用)(継続)

代表者 松田利彦

概要 業務や研究で韓国語を必要とする職員・大学院生等を対象に韓国語の会話・作文・読解の習得を目指した授業を行う。

古記録学基礎研究(継続)

代表者 倉本一宏

概要 日本前近代の根幹的史料である古記録の解説を、原本や写本の見方・扱い方も含めて考えていく。

フランス語基礎運用(初級)(継続)

代表者 稲賀繁美

概要 初心者を対象として、初歩の運用能力を実践的に身に付ける。教科書としては市販の教材の準備を参加者各自にお願いする。他の教材は現場で提供する。

フランス語読解補助・論文作成指南（中級）（継続）

代表者 稲賀繁美

概要 中級以上の実務能力開発、論文作成の手ほどきをすすめる。教材については、受講生との相談のうえで決定する。

文学・文化史理論入門（継続）

代表者 坪井秀人

概要 文学および文化史に関する基礎的な理論を学びながらテキストの読解・分析の実践的方法を修得する。

近現代史料文献研究（継続）

代表者 瀧井一博

概要 日本近現代史の基礎史料と古典的および先端的な文献を講読し、社会科学的な歴史研究の方法と実践を討究する。

中国古典学の基礎（継続）

代表者 伊東貴之

概要 経書を中心とするオーソドックスな中国古典語の文献を中国音と訓読とを併用して読解する技法を涵養する。併せて中国古典学や儒教入門のための道案内とする。

宗教学基礎論（継続）

代表者 磯前順一

概要 聖俗論、世俗主義論、宗教概念論、禁忌論など、宗教学の基本的な主題を、近代政治史の文脈にのせて議論を行なう。丹念なテキスト講読が中心。

心身技法の実践的・理論的探究（新規）

代表者 稲賀繁美

概要 合気道ほかの心身技法を実際に体験しつつ、心身の鍛錬、呼吸法の体得、精神情緒管理の実践に努める一方、そうした心身技法の理論的考察・記述の可能性を模索する。